



スポーツ庁「スポーツエールカンパニー2026」に認定

～社員の健康増進に向けた取り組みが評価され、2026年度の認定を取得～

『「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創るFORVAL』を理念に掲げ、ESG経営を可視化伴走型で支援する「企業ドクター(次世代経営コンサルタント)集団」の株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）は、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー2026」に7年連続で認定されました。今回は、通算7回以上認定された企業に付与されるシルバー認定となりました。



認定取得の経緯と目的

フォーバルでは、「フォーバルグループ健康経営方針」を掲げ、社員一人ひとりの健康維持・増進に努めることで、生産性と創造性を高め、すべての社員とその家族が安心して幸せを実感できる職場づくりを目指しています。その一環として、2019年より「スポーツエールカンパニー」認定制度に挑戦し、今年度で7年連続の認定を獲得しました。

今後も運動習慣の定着を促進し、社員が健康でいきいきと働ける環境づくりに努めてまいります。

フォーバルの主な取り組み

■社員の運動およびコミュニケーション促進のためのクラブ活動支援

2025年度現在、18の運動系部活動（390名在籍）が会社の支援を受けて活動中。

■フォーバルの実業団バレー ボールチーム「FORVAL BONDS」の活動

フォーバルボンズでは、所属選手の故郷を中心にバレー ボール教室や交流試合を開催し、スポーツを通じた地域活性化に取り組んでいます。また、SVリーグ参戦を目指し、日々練習を重ねています。



「FORVAL BONDS」について

■ヘルスプラネットの導入(利活用)

フォーバルグループのタニタヘルスリンクが提供する健康管理アプリ

「ヘルスプラネット」を、グループ各社へ展開いたしました。

同アプリの活用により、バーチャルウォーキングラリーの開催や、

日常の健康データの可視化が可能となりました。

また、導入にあわせて健康意識に関するアンケート調査も実施し、

今後の健康増進施策の検討に活用してまいります。



ヘルスプラネットについて

スポーツエールカンパニー制度について

スポーツ庁では、朝や昼休みなどに体操・ストレッチをするなどの運動機会の提供や、階段の利用や徒歩・自転車通勤の奨励、あるいはスタンディングミーティングの実施など、スポーツ競技に限らず、社員の健康増進のためスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」（英語名称：Sports Yell Company）として認定する制度を実施しています。

本制度により、従業員がスポーツに親しめる環境づくりを進める企業の社会的評価が向上することで、「働き盛り世代」をはじめとして、国民全体のスポーツ実施率の向上につなげていく目的があります。

スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」について

株式会社フォーバルについて

ESG経営を可視化伴走型で支援する「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）集団」であるフォーバル（資本金：41億50百万円、【証券コード：8275】）は、中小・小規模企業を対象に「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野に特化したコンサルティングサービスをコアビジネスとしています。

政府が掲げる4つの原動力「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に則り、自治体・民間企業・教育機関・金融機関と連携しながら日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環によって永続的な地方創生の実現を目指す「F-Japan」構想を推進するとともに、近年ますます注目される人的資本をはじめとしたESG経営の可視化伴走支援に取り組んでいます。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 將典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>